

新年明けましておめでとうございます。

今年、中部協同病院は30周年を迎えます。1987年創立時100名弱の職員から出発し、現在220名の職員を擁して、中部地域の医療・介護に一定の役割を果たしています。

現在取り組んでいる新病院建設は、次の発展・飛躍の基礎を作る重要な企画です。昨年、中部協同病院は新病院の設計、旧中頭病院への移転準備などに明け暮れた1年でした。現在、新病院の基本設計が終わり、実施設計に移っています。病院敷地を広げるための交渉や、設計のための意見集約、打ち合わせなどが頻繁に行われました。

医療活動では、皮膚科を再開することができ、小児科は常勤が赴任し診療時間が大幅に増えました。また、内科でも常勤医が増え体制が強化されました。

医師初期研修も軌道に乗り、毎月初期研修医を迎えており中部協同病院経験医が増えました。今後もさらに研修を充実していきたいと思っています。

今年、医療活動は旧中頭病院で行われます。医療機器では新たにMRIが使用可能となります。広くなった病院で、量的にも、質的にも改善した医療を提供したいと思っています。また、地域の医療・介護施設との連携・交流を更に活発にしていきたいと思っています。

医療をめぐる状況は毎年変化しています。昨年4月に、診療報酬の改定があり在宅医療が打撃を受けました。診療所群が軒並み赤字となり、沖縄医療生協は上半期赤字となりました。今年も、昨年検討された県の地域医療ビジョンに沿って、医療提供体制の具体化(増床)が始まるものと思われれます。

厳しい環境のなかでの新病院建設となりますが、職員一同この大きなプロジェクトを成功させるために全力で取り組みたいと思います。
1月8日に旧中頭病院へ移転し、旧病院解体・新病院建設が始まります。
本年もどうぞよろしくお願いたします。

中部協同病院 院長 与儀 洋和

5S活動

皆さん、「5S」という言葉をご存知ですか？「5S」とは、「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「しつけ(習慣)」をいいます。中部協同病院では、患者さんがより快適に過ごして頂けるよう、そしてスタッフが業務を円滑にこなせるよう、「5S」活動を実施しております。私の所属するリハビリ室でも、毎朝、物品の管理や清掃を行っており、習慣化とスタッフの意識付けに繋がっております。まだまだ改善点はありますが、今後も「5S」活動に取り組み、より良い環境づくりを目指したいと思います。

中部協同病院リハビリ室
理学療法士 玉城 明子

看護師のユニフォームが変わりました!!



12月1日から中部協同病院看護部のユニフォームが新しくなりました。女性は上着がワインカラーと紺のズボン、男性は上下紺色になりました。ユニフォームが新しくなると、気持ちも心機一転しました。ユニフォームが新しくなって良かったと思うことは、患者さんや組合員さんからの評判が良いということです。素敵でかっこいいとの声や読谷の知花理事からは、読谷の紅芋カラーで嬉しいとの声がありました。また、それぞれの思いはありますが何といても体型が目立たないこと、以前のゆるキャラな感じから賢く見えてかっこいい雰囲気になっています。来年1月8日に旧中頭病院に移転し、そこで2年間医療活動を行います。つきまして、新しいユニフォームで気持ち新たに医療生協人として、さらに磨きをかけて地域に信頼されるよう職員一丸となって、頑張っていきたいと思っています。組合員の皆様のご協力を宜しくお願い致します。

中部協同病院 2階病棟 伊佐ときみ



旧中頭病院への 移転について



全館ご案内

移転日:2017年1月8日

東側

中央

西側



現中部協同病院 集合写真



移転中は、シャトルバスが運行します!!



(現中部協同病院⇔旧中頭病院)

午前 8:00 から 20 分おきに出発
最終は 12:00 発まで

午後 13:00 から 30 分おきに出発
最終は 16:30 発まで